

# 2024年12月期 通期決算説明資料

~事業計画及び成長可能性に関する事項~

---

2025/02/27

株式会社Welby  
(証券コード 4438)



# 目次

1

会社概要

2

2024年12月期業績

3

今期重点取組施策と前期進捗

4

今後の成長

5

参考資料



# “Empower the Patients”

患者が、自ら情報を得て、自ら行動して、自ら判断する

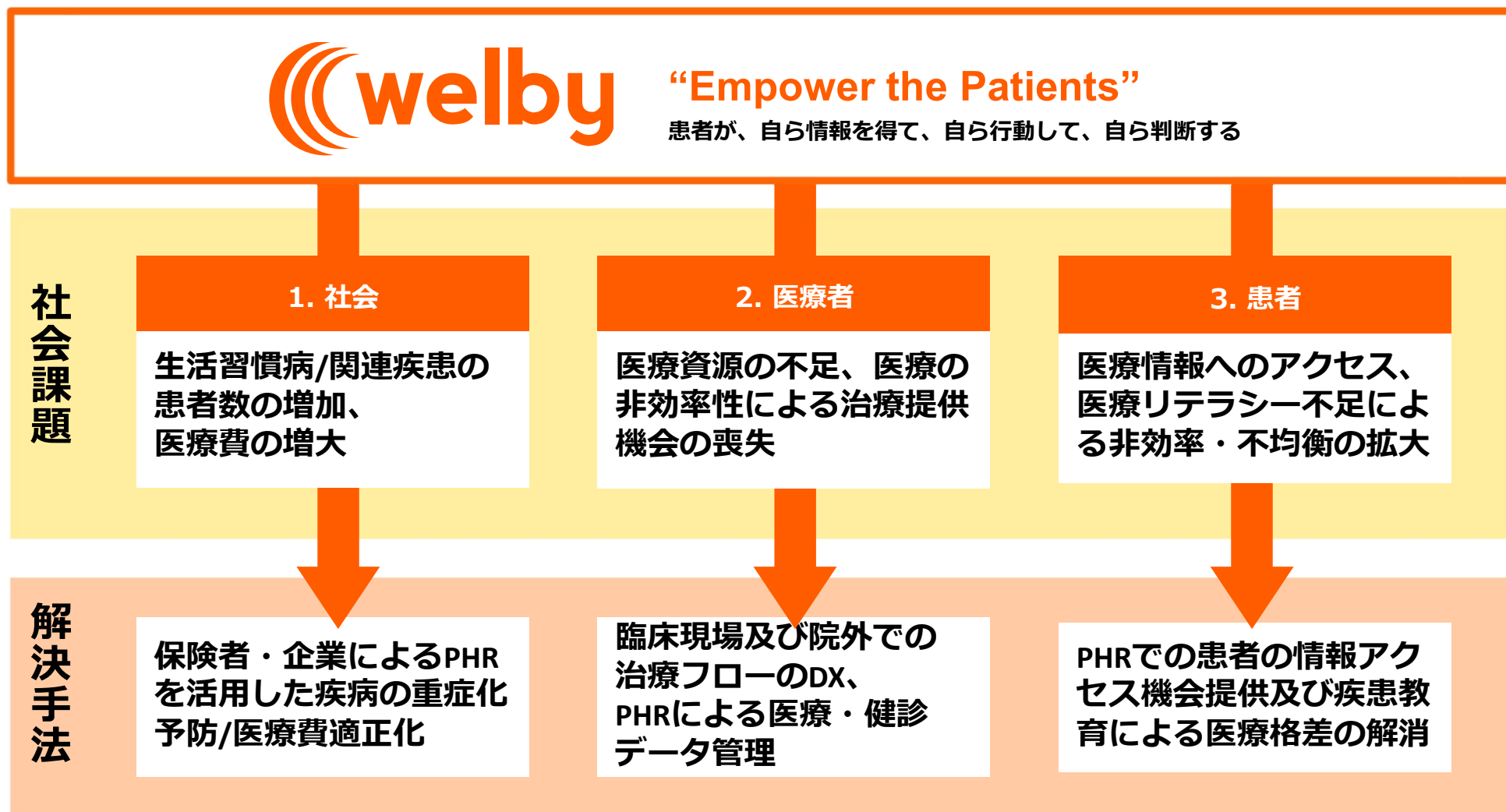


Now



Future

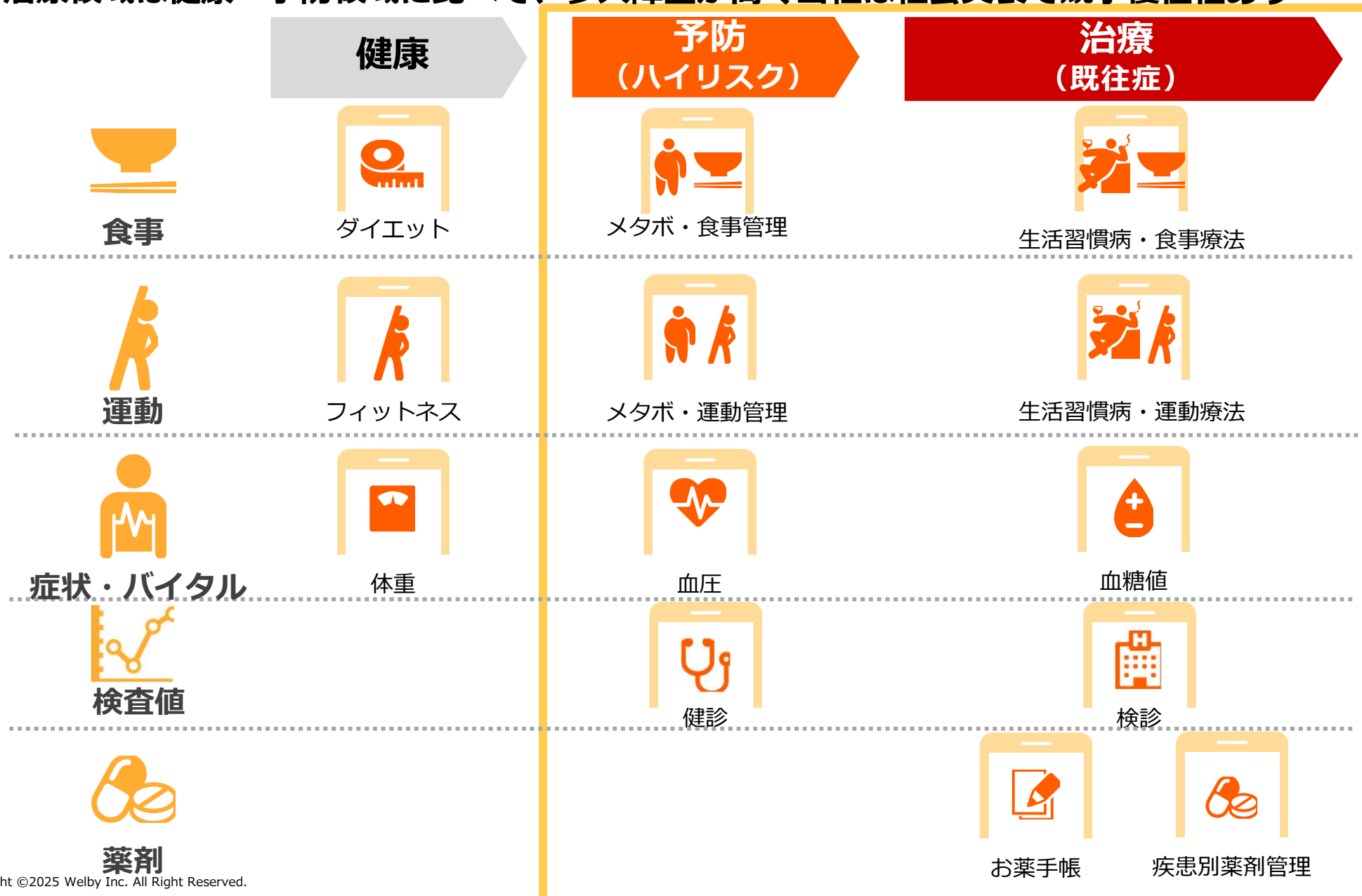
# MissionであるEmpower the Patients の実現を通じて、医療にまつわる様々な社会課題の解決を図る



※PHR:Personal Health Recordの略で個人のHealth Recordを管理共有する仕組み

予防・治療領域に特化したPHRプラットフォームサービス

治療領域は健康・予防領域に比べて、参入障壁が高く当社は社会実装で競争優位性あり



## 「治療アプリ」として、PHRを処方する時代に

～医療機関にて患者に疾患別アプリを紹介：糖尿病、高血圧、がん等～

### 1 医師が患者にアプリを紹介

クリニック専用パンフレットで案内  
クリニック専用アプリを提供



### 2 患者自身がかんたん記録

バイタル/食事/運動/処方/睡眠  
検査値等測定機器と連動

Bluetooth® HRジョイント。



### 4 療養指導を効率的/効果的に 患者の治療が継続

治療継続・効率化

アウトカム改善



### 3 データは医療機関と共有 データをグラフ等で確認

医療機関の  
PC/タブレット等で確認

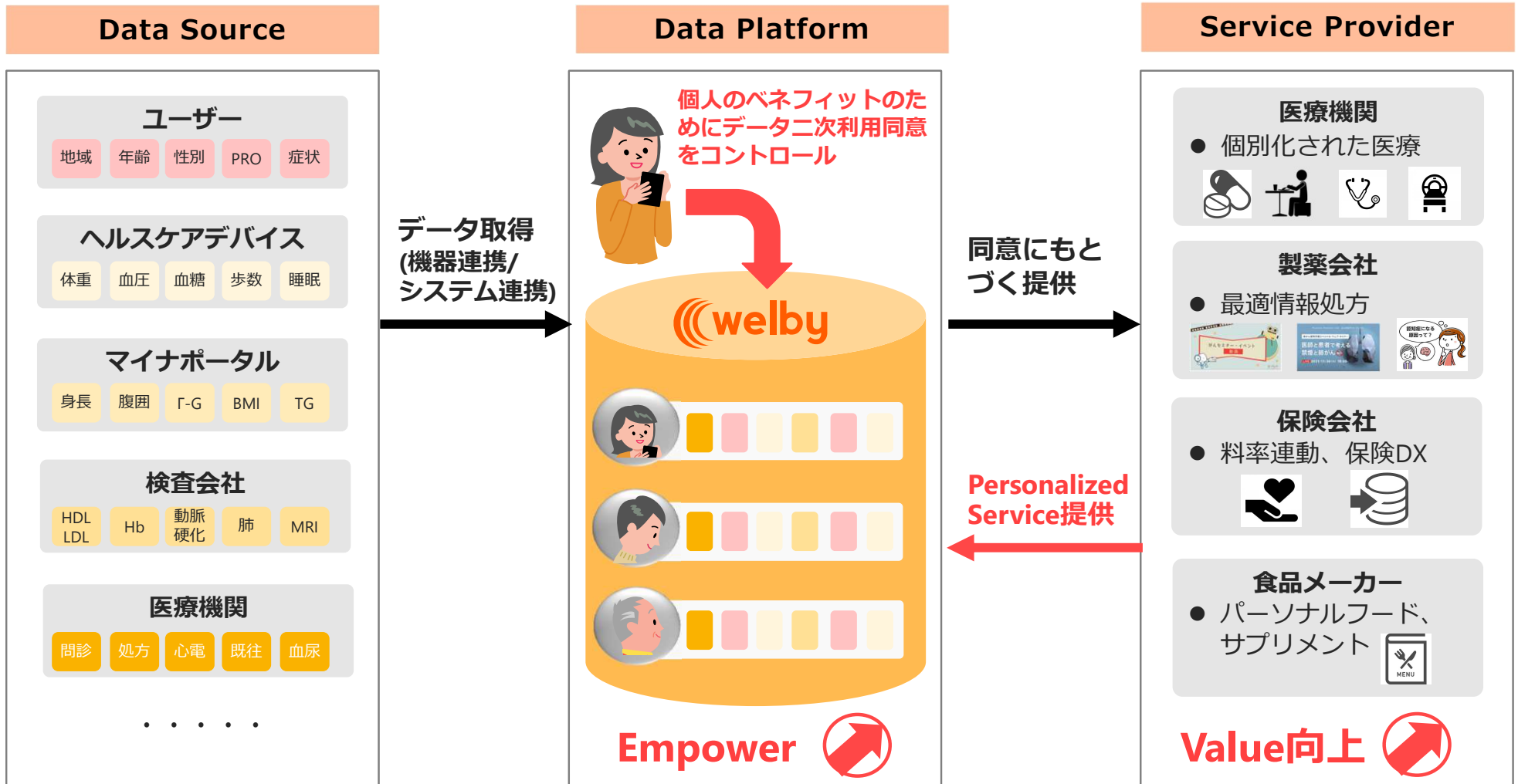


食事管理

血圧・体重

血糖値

主に慢性疾患の治療・未病領域におけるアウトカム向上にフォーカス  
データの活用範囲を定め、同領域でサービス提供する顧客の事業拡大に貢献

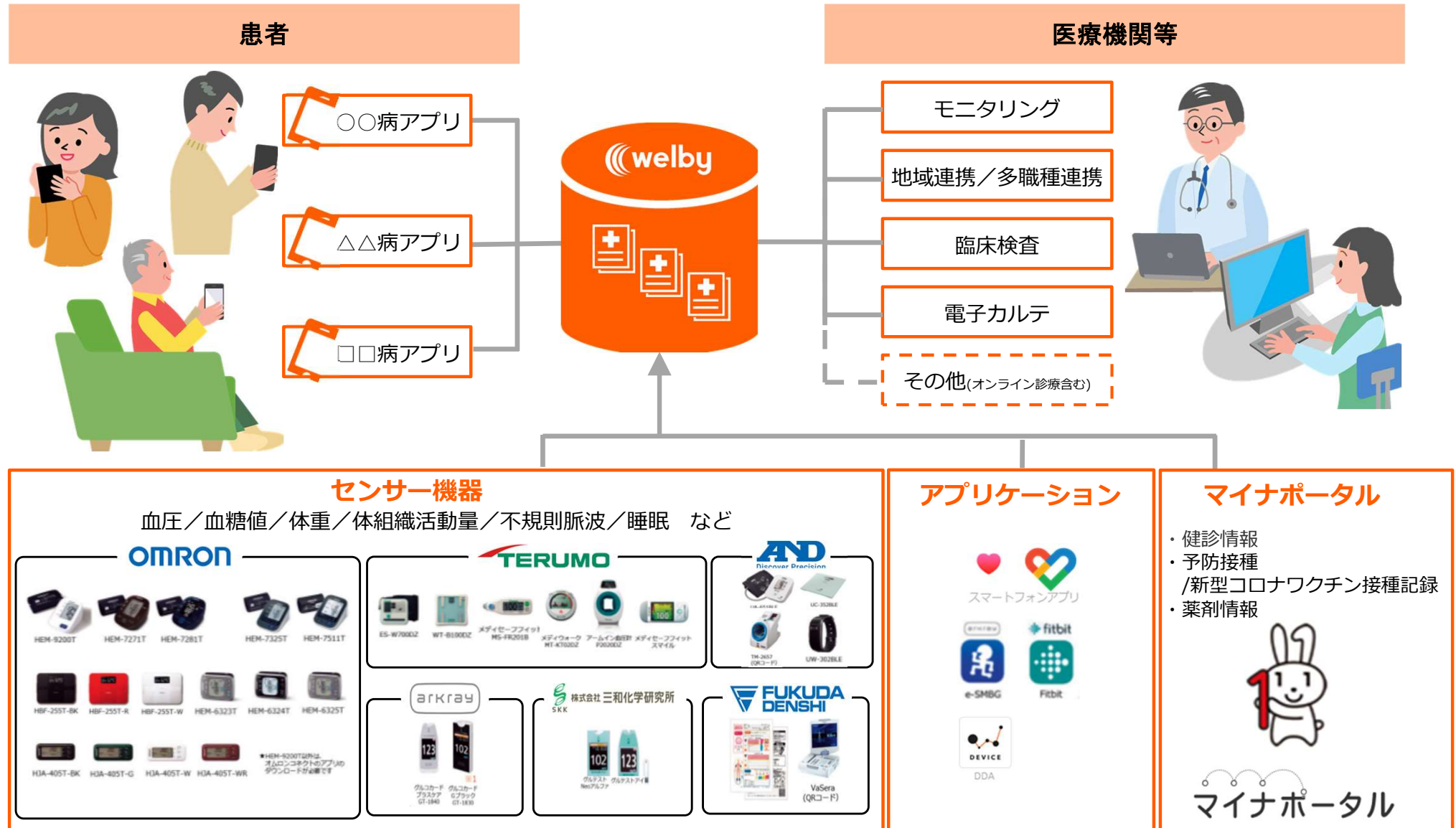


**取組 1**  
各疾患領域のアウトカム向上に貢献するデータを中心に集約

**取組 2**  
個人の利用目的とUXに沿ったデータ管理と同意取得管理を提供

**取組 3**  
同意取得に基づいたデータ利用により個別化サービスを提供

## 各種センサー機器、アプリケーション及び電子カルテ、マイナポータル等と連携可能な患者起点のデータプラットフォームを提供

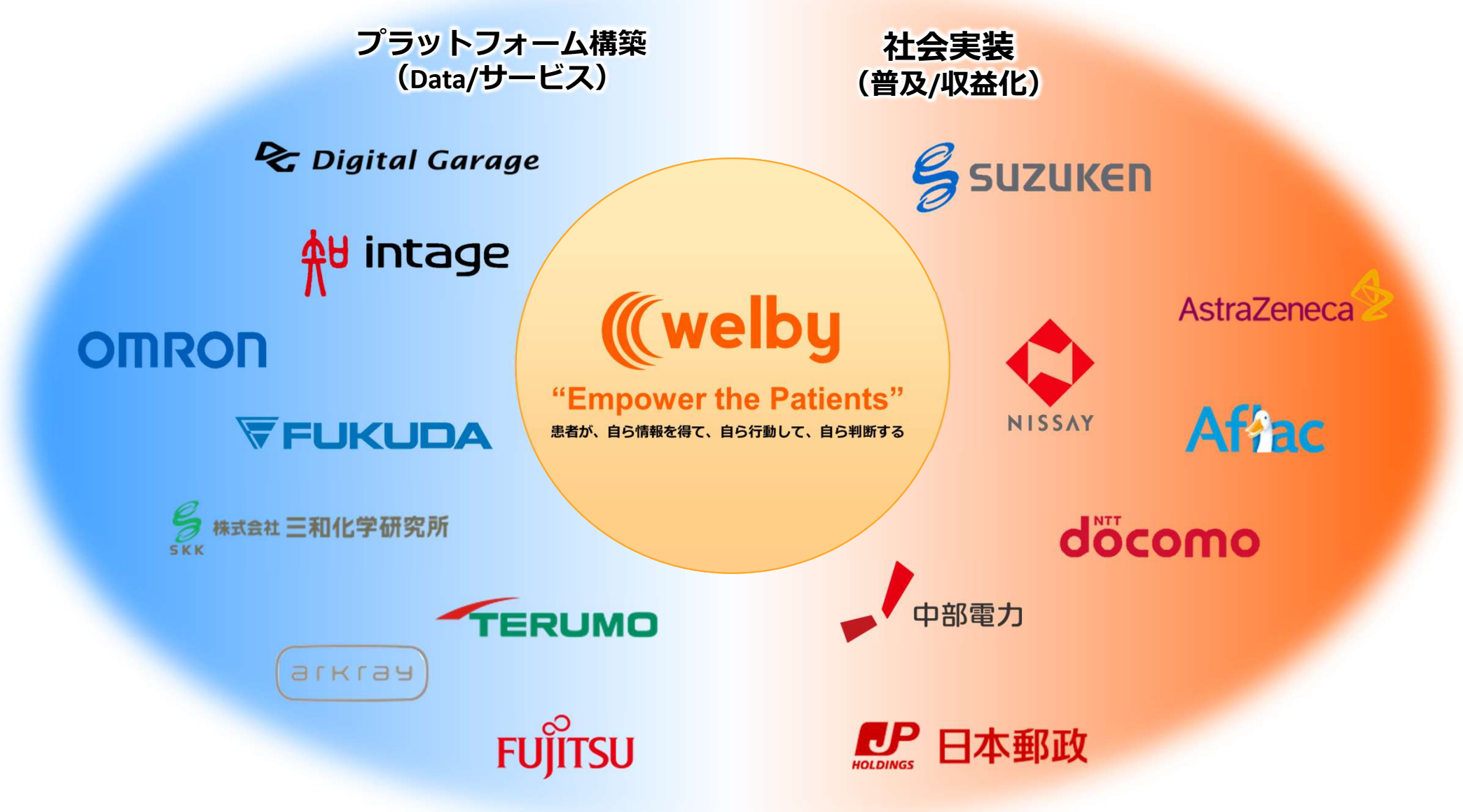


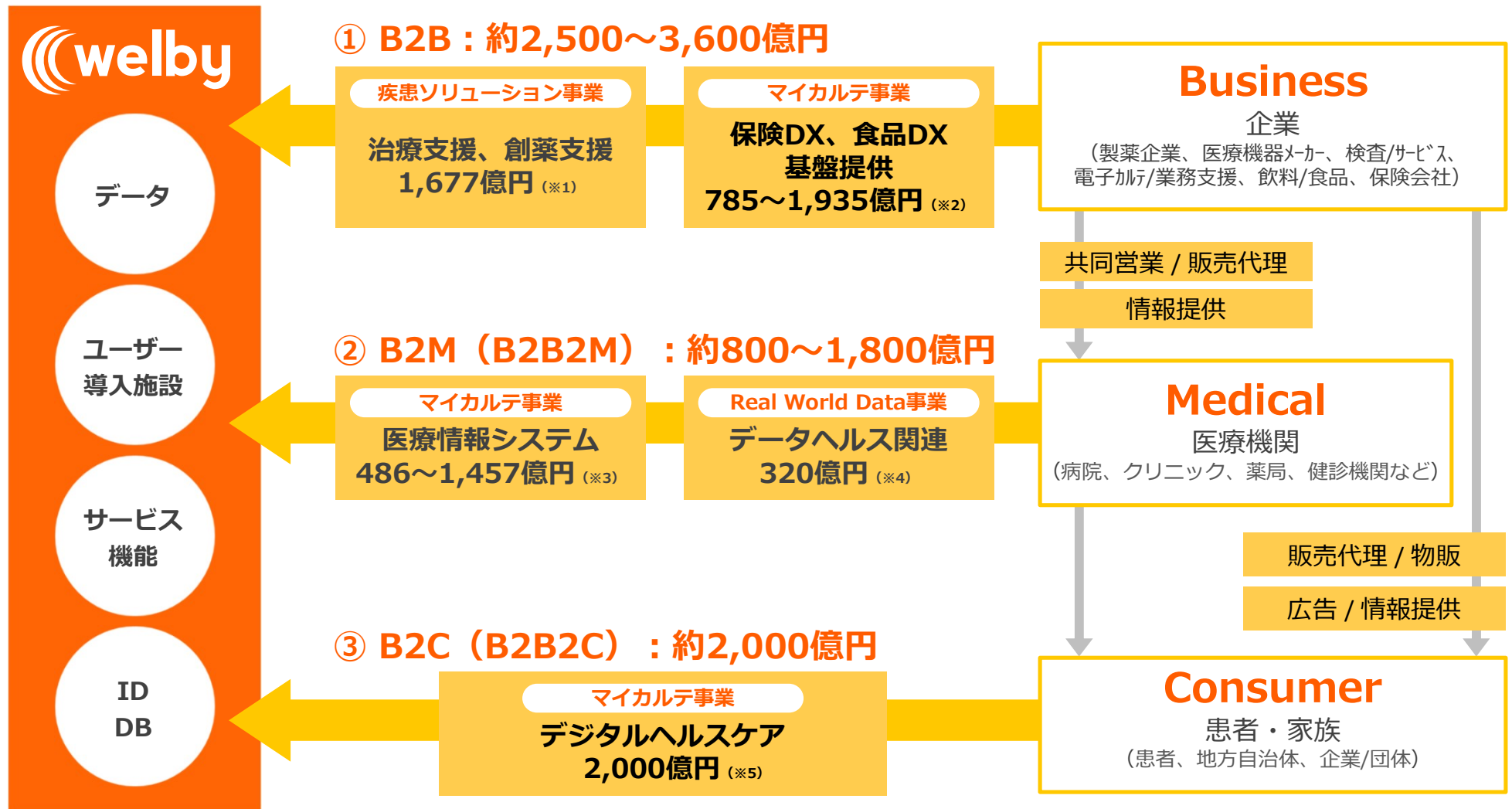


## データ連携によるサービス価値向上と、サービス普及による社会実装を各パートナー企業と連携して推進

プラットフォーム構築  
(Data/サービス)

社会実装  
(普及/収益化)





※1 富士経済:「2020年 医療ITのシームレス化・クラウド化と医療ビッグデータビジネスの将来展望 No.2」より、創薬支援、医療ビッグデータ分析、医薬品開発支援、医療向けプロモーション市場規模の合計1284億円と、同文献項目、ビッグデータ活用治療・診断システムの市場規模3928億円のうち、10%にあたる393億を合算した1677億を潜在市場として想定。

※2 保険DX市場は、矢野経済研究所:「2022 生命保険会社におけるInsurtech市場の実態と展望」における2022年同市場規模2,470億円の10%~30%を潜在市場として推定。  
 食品DX市場は、dentsu:「日本の広告費」における2023年食品業界広告費2,104億円のうち、10%を潜在市場と推定。  
 基盤提供は、富士キメラ総研:「ウェアラブル/ヘルスケアビジネス総調査 2023」より、システム・サービスの国内市場における2022年見込みの3280億円の10~30%を潜在市場として推定し、各市場を合算。

※3 富士経済:「2020年 医療ITのシームレス化・クラウド化と医療ビッグデータビジネスの将来展望 No.1」より、医療情報システムの国内市場規模485億の10%~30%を潜在市場として推定。

※4 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局:「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 統合型ヘルスケアシステムの構築、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」より2026年のリアルワールドデータ市場規模推計値。

※5 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局:「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 統合型ヘルスケアシステムの構築、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」より2025年のPHR市場規模推計値。

# 目次

1

会社概要

2

2024年12月期業績

3

今期重点取組施策と前期進捗

4

今後の成長

5

参考資料

## 2024年12月期決算 サマリー



売上高は、新規PHRサービス開発による案件収益があった中で、従前の個別PSPサービスからプラットフォーム型サービスへの移行期によるパイプライン形成及びリードタイム長期化等により前期比減収。売上総利益は、売上高減少があったものの、プラットフォーム開発投資の効果として標準化による開発コストの低減での原価削減により前期比増益。他方営業利益は、子会社における新規事業立ち上げのための普及投資及びサービス開発のための開発投資実施などの先行投資による販管費増加のため減益。

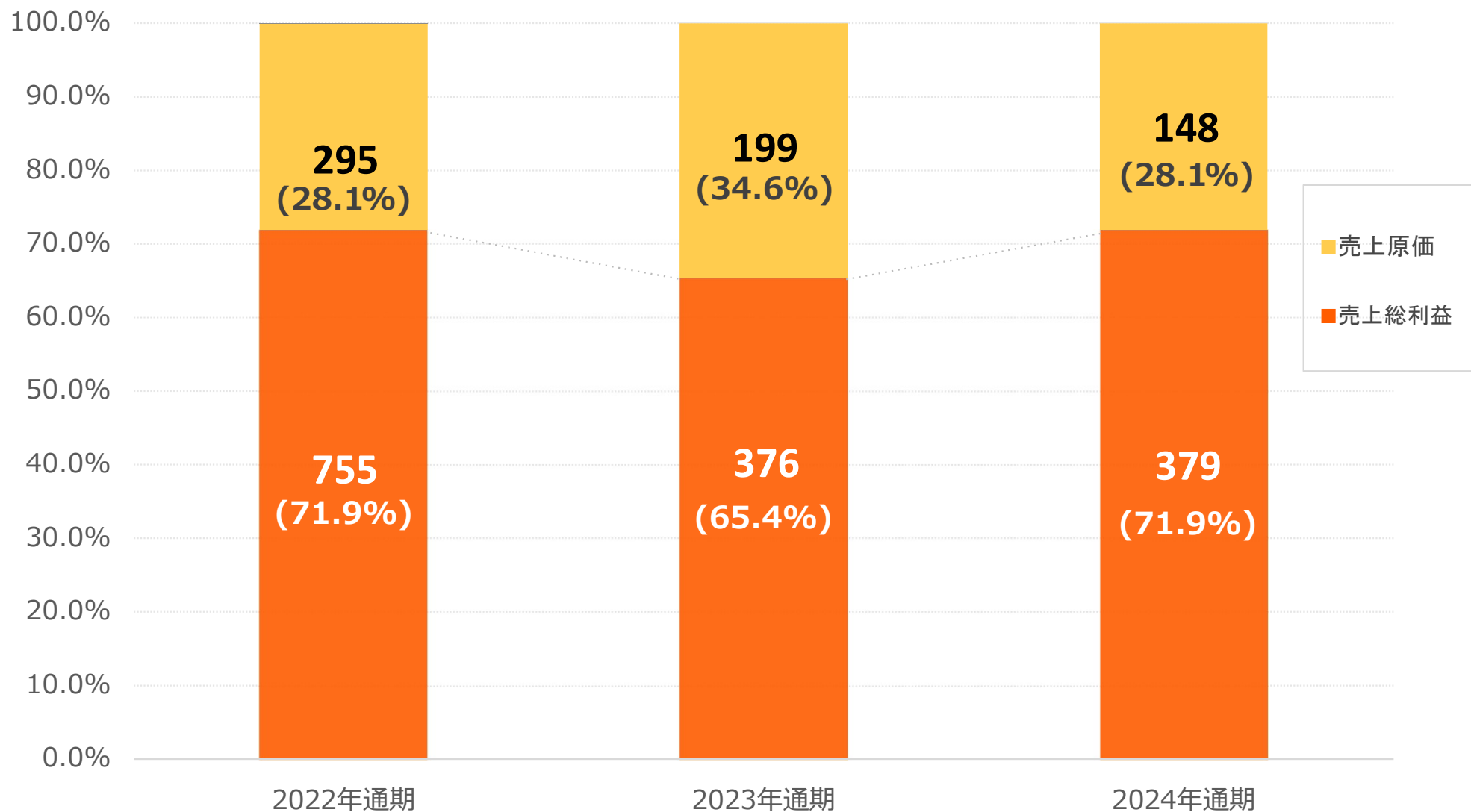
(単位：百万円)

|                     | 2024年<br>12月期実績 | 2023年<br>12月期実績 | 増減額  | 増減率    | 2024年<br>12月期予想 |
|---------------------|-----------------|-----------------|------|--------|-----------------|
| 売上高                 | 528             | 575             | -47  | -8.2%  | 1,173           |
| （疾患ソリューション事業）       | 407             | 455             | -48  | -10.5% | —               |
| （マイカルテ事業）           | 120             | 119             | +0   | +0.5%  | —               |
| 売上総利益               | 379             | 376             | +3   | +0.8%  | —               |
| 営業利益                | -654            | -437            | -217 | —      | -164            |
| 経常利益                | -655            | -438            | -216 | —      | —               |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | -804            | -505            | -299 | —      | —               |
| 先行投資金額              | 214             | 207             | -7   | +3.4%  | —               |

※先行投資金額：マイカルテへの投資とプラットフォーム開発への投資の合計  
 ※疾患ソリューション事業には一部Real World Data事業での収益を含む

減収だったものの、プラットフォーム開発投資による開発コストの低減により売上総利益は前期比増益、売上総利益率は前期比+6.5%。

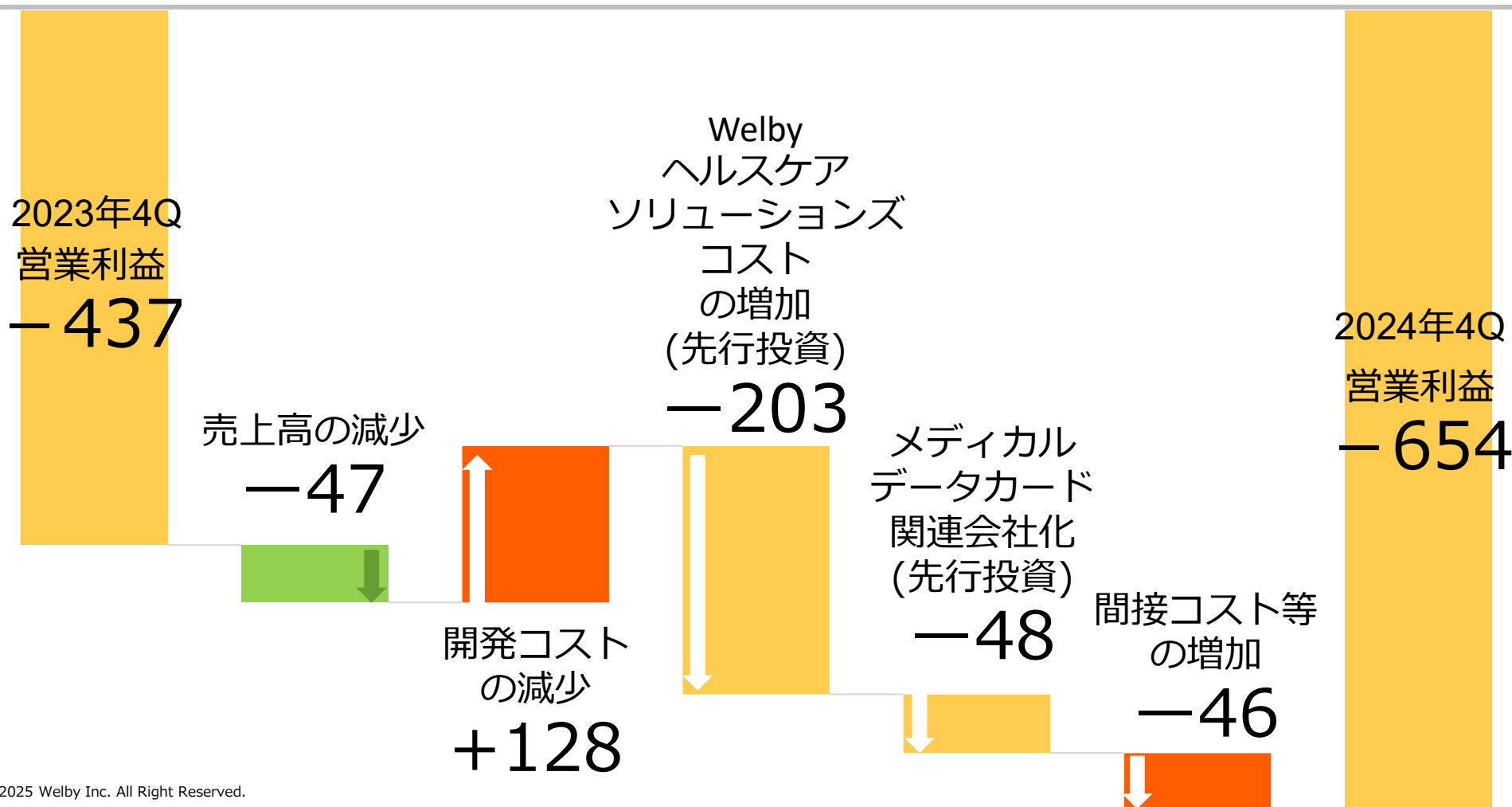
(単位：百万円)



※2023年第1四半期以前は単体決算であるため、前々期の数値は参考データ

- プラットフォーム化による、開発全体での運用標準化によるコスト削減
- 子会社での新規事業への先行投資として：
  - Welbyヘルスケアソリューションズの立ち上げコスト : サービス開発、普及コスト
  - メディカルデータカードの関連会社化に伴うコスト増加 : 事業統合コスト

(単位：百万円)



**中部電力を割当先とする第三者割当増資実行+500及び新規借入実行+200があったが、新規事業への先行投資含めた当期純損失及びメディカルデータカードの子会社化▲150により前年度末比現預金減少**

(単位：百万円)

## BS

|           | 2024年<br>4Q末 | 2023年<br>4Q末 | 増減額  |
|-----------|--------------|--------------|------|
| 流動資産      | 937          | 1,131        | -158 |
| 固定資産      | 193          | 73           | +120 |
| 資産 合計     | 1,167        | 1,205        | -38  |
| 流動負債      | 328          | 87           | +241 |
| 固定負債      | 0            | 0            | +0   |
| 負債 小計     | 328          | 87           | +241 |
| 純資産       | 838          | 1,117        | -279 |
| 純資産 小計    | 838          | 1,117        | -279 |
| 負債・純資産 合計 | 1,167        | 1,205        | -38  |

## CF

|             | 2024年<br>4Q末 | 2023年<br>4Q末 | 増減額  |
|-------------|--------------|--------------|------|
| 現預金の期首残高    | 883          | 830          | +52  |
| 営業キャッシュ・フロー | -603         | -174         | -429 |
| 投資キャッシュ・フロー | -235         | -114         | -121 |
| 財務キャッシュ・フロー | 696          | 341          | +355 |
| 現預金の期末残高    | 740          | 883          | -142 |

**FY24  
業績**

◆売上高については、下記の理由により業績予想未達

- ①疾患ソリューション事業：当初見込んでいたパイプラインの失注、PHRプラットフォームへの事業転換によるパイプライン形成及びリードタイム長期化
- ②マイカルテ事業：Welbyヘルスケアソリューションズにおける保険者向け事業立ち上げの遅れ

◆売上総利益率については、PHRプラットフォーム基盤の継続強化のための開発投資による開発コストの低減により業績予想比3.9%良化

◆複数年に亘って利益回収する先行投資(PHRプラットフォーム基盤及び医療機関普及等)は将来の成長のために実行済

**FY25の  
方針**

◆治療ドメイン中心としたPHRプラットフォーム上のサービスポートフォリオ拡大と収益化

- ①疾患ソリューション事業：疾患横断的かつ業界横断的にデータの利活用が可能なPHRプラットフォームの展開、Real World Dataを活用したユーザーリサーチ事業等の新規事業立ち上げ
- ②マイカルテ事業：ヘルスケアソリューションズにおける保険者・自治体向け事業の展開、メディカルデータカードとの連携による事業推進の加速

◆リードタイム及び案件確度を踏まえた蓋然性の高いパイプライン管理の実行

| (単位：百万円)      | 売上高   | 売上総利益 | 売上総利益率 | 営業利益 |
|---------------|-------|-------|--------|------|
| 業績予想(2024年8月) | 1,173 | 795   | 68%    | △164 |
| 2024年12月期     | 528   | 379   | 71.9%  | △654 |
| 2023年12月期     | 575   | 376   | 65.4%  | △437 |



# 目次

1

会社概要

2

2024年12月期業績

3

今期重点取組施策と前期進捗

4

今後の成長

5

参考資料

## 疾患ソリューション事業

PHRの実臨床での活用推進

データ利活用を見据えたPHRプラットフォーム基盤の提供

**Real World Dataを活用したユーザーリサーチ事業等の推進強化**

## マイカルテ事業

マイカルテOEM利用の拡大

健診受診率向上及び疾病の重症化予防を推進

パートナー（スズケン、日本生命等）との協業による認知拡大


## PHR事業基盤構築

医療・健診データの統合

Data Portabilityの実現

プラットフォーム開発への積極投資

PHR業界発展への貢献

※  は今期より新規記載項目

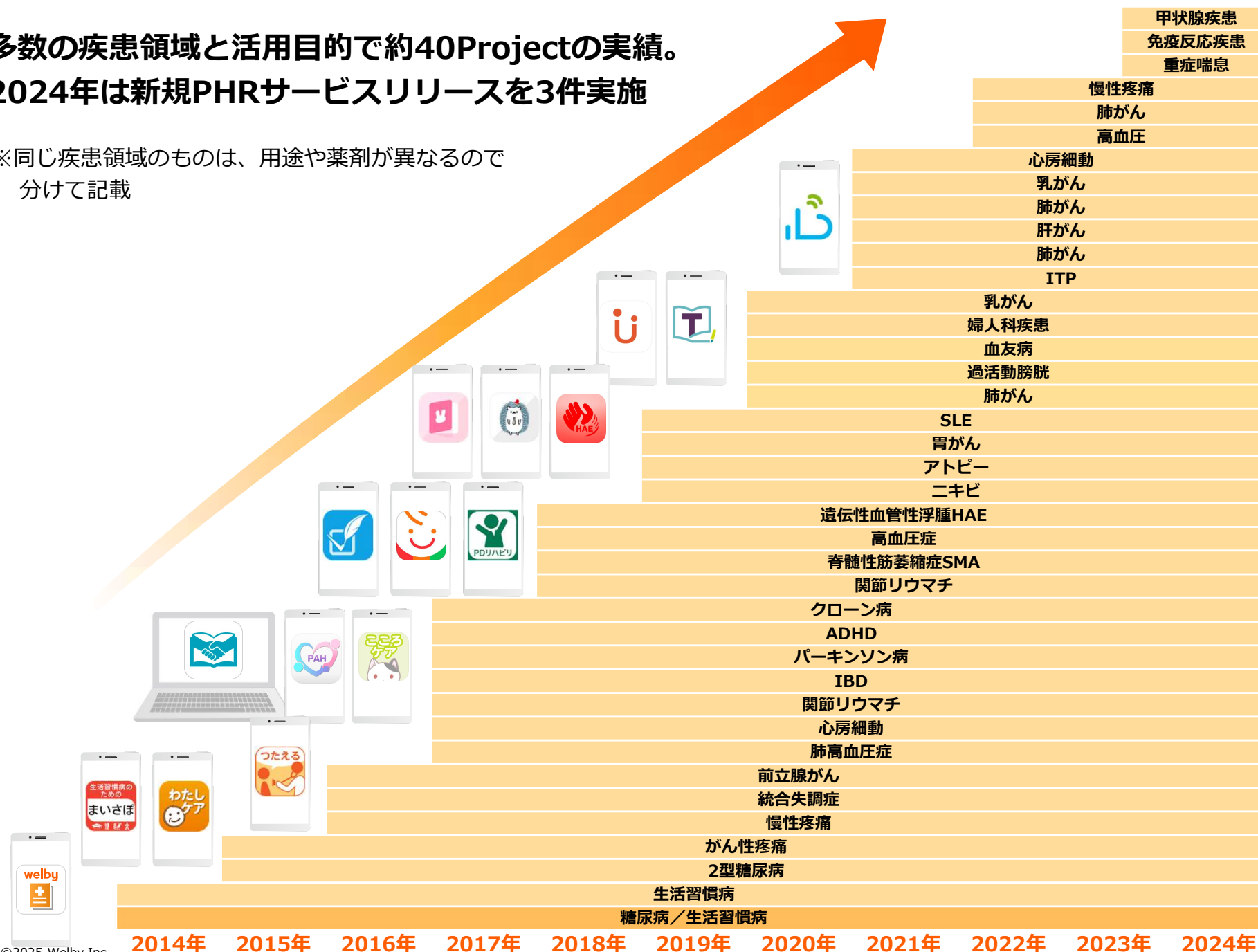
## 中期的な事業基盤の構築に向け、スズケンをはじめとするパートナーとの協業を通じて普及拡大を図る

|          | 事業戦略  | KPIとその進捗(24年12月末)  |
|----------|---|--|
| プライマリー領域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>直近で約17.3万IDまで浸透が進むスズケン社コラボポータル(※1)と連携し、医療機関への普及を加速</li> <li>PHRサービス・データ利用のSaaS/PaaS型事業の拡大</li> <li>多様なデータ連携によるData Portabilityの推進</li> <li>ユーザー向けPersonalized(個別化)サービスの強化</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>マイカルテ契約医療機関数6,569軒(内科系医療機関の9.2%)</li> <li>内科系医療機関の内、登録かかりつけ医療機関数比率：</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>循環器内科</p> <p>53.3%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>糖尿病内科</p> <p>55.3%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>内科</p> <p>33.5%</p> </div> </div> |
| オンコロジー領域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>スズケン社キュービックスシステム導入済の医療機関(直近で490軒 ※1)への「マイカルテONC」導入を加速</li> <li>がん種/薬剤/ニーズ別に、患者サポートプログラムの個別OEM開発</li> <li>臨床研究向けePRO、レジストリ研究によるデータソリューションを強化</li> </ul>                               | <p>がん診療連携拠点病院等の内、契約医療機関数比率：<br/>医療機関461軒の内、62軒(13.4%)契約済</p> <div style="text-align: center;"> <p>13.4%</p> </div>   |

※1 株式会社スズケン2025年3月期中間期決算説明会資料(2024年11月13日)より

## 多数の疾患領域と活用目的で約40Projectの実績。 2024年は新規PHRサービスリリースを3件実施

※同じ疾患領域のものは、用途や薬剤が異なるので  
分けて記載



| 分類          | 内容   | ページ番号 |
|-------------|--|-------|
| 疾患ソリューション事業 | <u>重症喘息、免疫反応疾患及び甲状腺疾患におけるサービスリリース</u>  | 21    |
|             | がん治療におけるePRO活用の有用性に関するレビュー論文が掲載 ～実臨床でのePRO/PHR普及による治療アウトカム向上を目指して～   | —     |
|             | 国立がん研究センターらと 実臨床におけるPHR利活用の実現可能性について検証する レジストリ研究を開始 ～ITヘルスケア学会にて、その展望を口頭発表～                                    | —     |
|             | 大阪市都島区PHR普及推進コンソーシアムによる 「生活習慣病の進展予防・管理及び病診連携における利用者視点に立ったPHRの価値検証」が 経済産業省「令和6年度医療機関におけるPHR利活用推進等に向けた実証調査事業」に採択 | —     |
| マイカルテ事業     | <u>PHRを活用した保険者向け事業として「みなし健診」サービスの事業化を推進</u><br>～特定健康診査受診率の向上を推進～   | 22    |
|             | <u>NTTドコモとPHRを活用した疾病領域における協業に合意</u> ～日本高血圧協会監修「Welbyマイカルテ」登録促進に向けて「家庭血圧測定キャンペーン」を開催～                           | 23    |
|             | <u>日本生命と資本業務提携</u> ～産業保健・保険者向けソリューションの開発・提供を通じて、PHRの広範な社会実装を加速～  | 24    |
|             | <u>スズケンとの資本関係を強化し更なる協業加速</u><br><u>PHRと流通プラットフォームを連携・利活用するサービス開発を推進</u>  | 25    |
|             | <u>マイカルテに療養計画書作成機能を追加し、2025年1月より提供を開始</u> ～クリニック業務のデジタルを活用した効率化を提供し、開業医と地域住民の利便性向上に貢献～                         | 26    |
| PHR事業基盤構築   | <u>中部電力とPHRサービス普及促進に向けた資本業務提携に合意</u> ～三位一体となった「医療プラットフォーム」の構築により新たな価値提供を目指す～                                   | 27    |
|             | <u>メディカルデータカードの子会社化によるData Portabilityの推進</u>  | 28    |
|             | <u>プラットフォーム基盤強化への先行投資/案件化を推進</u>   | 29    |
|             | <u>PHR業界団体への参画及び発展貢献</u>   | 30-31 |

# アムジェンとともに甲状腺疾患患者向けアプリ「サイログ」提供開始

## 2024年12月に新規PSPサービスとして甲状腺疾患患者向けアプリの提供開始

### ▼サイログ導入の背景

甲状腺疾患患者さんの健康管理を支援するために開発されたアプリ。甲状腺疾患は、眼球突出、甲状腺の腫れ、体重の増減など、さまざまな症状が現れる病気。特に眼球の突出は、緩やかに進行する場合があります。患者さんは変化に気づきにくく、医師に正確に病状を伝えることが難しいという課題があった。顔貌の写真を定期的に記録し変化を比較することで、患者さんが医師に症状の進行を伝えやすくする仕組みを提供する。

### ▼機能の特長

#### 写真記録機能

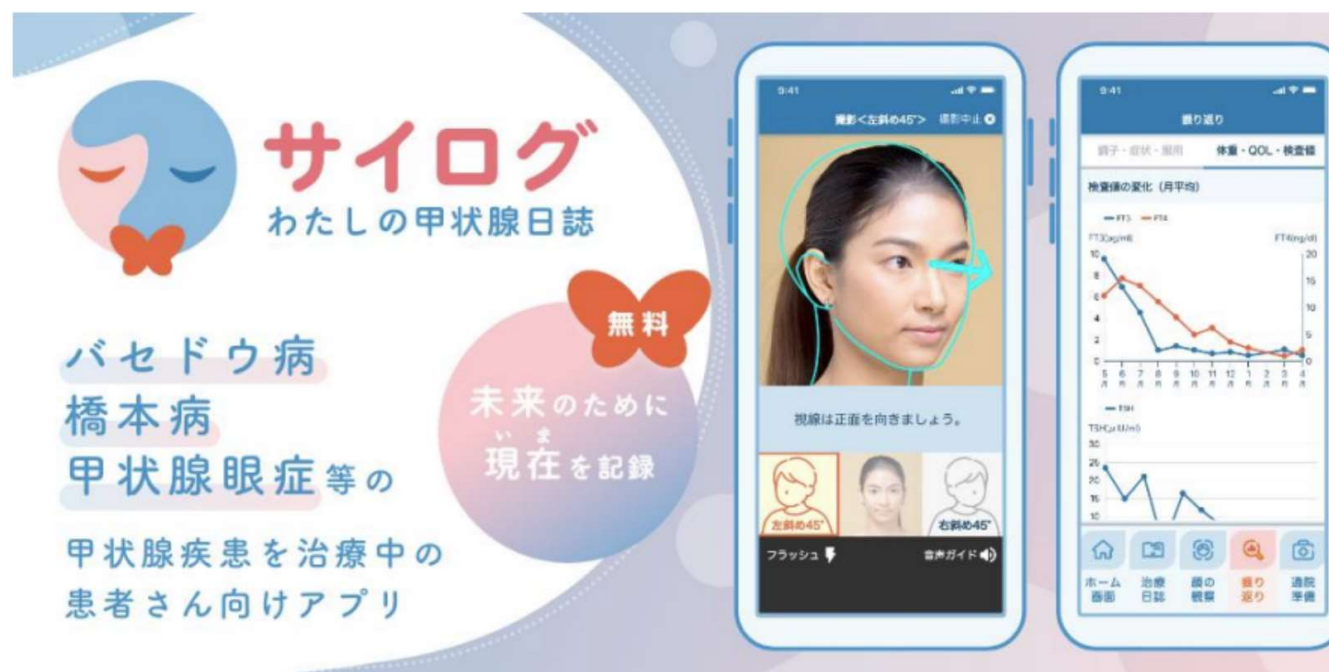
顔の正面、右斜め45度、左斜め45度の写真を撮影する機能を搭載し、音声ガイドが撮影をサポート。一人でも簡単に顔貌の変化を記録できる。

#### 記録の共有機能

アプリに記録した写真や検査値、体重、体調などのデータは、レポートとして出力可能。メールやQRコードを利用して医療従事者に共有でき、診療時のコミュニケーションを円滑にする。

#### 総合的な健康管理

症状記録に加え、服薬記録、検査値の記録、通院管理など、患者さんの日常生活を支援する多機能な設計。



PHRを活用した保険者向け事業として「みなし健診」サービスの事業化を推進  
 ～特定健康診査受診率の向上を推進～

Welbyヘルスケアソリューションズの保険者向けソリューションとして日本生命と「みなし健診」サービスの提供を推進。PHRを活用したData Portabilityの大規模な社会実装を見込む。初年度はJAL健保、三菱電機健保等29団体が参画し、今後も順次参画予定

### みなし健診とは

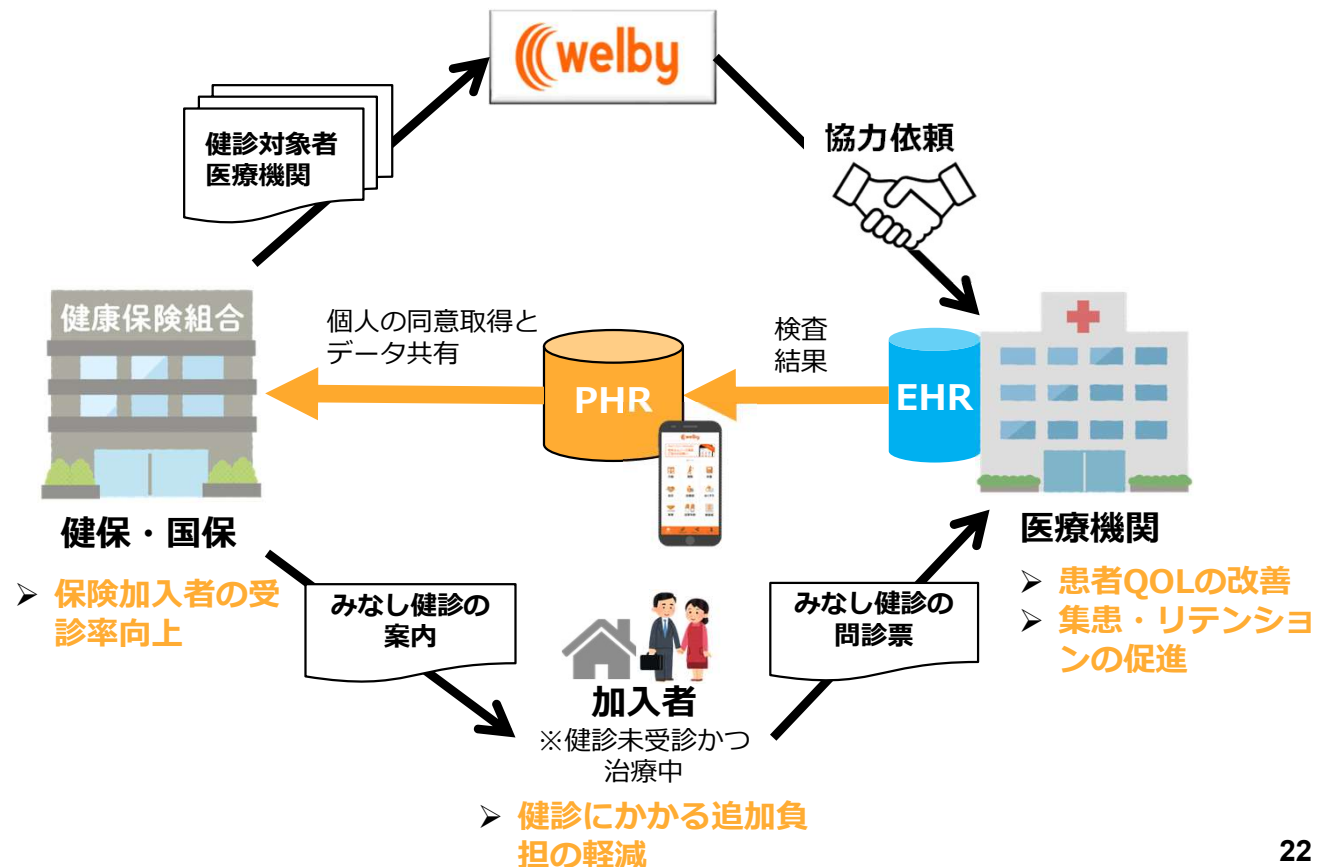
特定健康診査と同項目の検査を職場や通院中の医療機関等で既に受けられている場合、その検査結果を加入の医療保険者が取得することで特定健診を受診したとみなすことができる仕組み。特定健康診査受診率向上を通じて医療費削減に貢献。

### 特定健診実施率の状況\*

- ✓ 特定健診の受診率は、全体で56.5%、未受診者は2,341万人
- ✓ 受診率が低いものは、市町村・協会けんぽ、健保・共済組合の被扶養者で合計2,185万人（未受診者の93%）
- ✓ 国は特定健診保健指導実施期間第4期終了時（2029年度）までに受診率70%を目指す

\*出典：「2021年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況について」（厚労省、2023）

### 「みなし健診」サービス概要







## 日本生命と資本業務提携

～産業保健・保険者向けソリューションの開発・提供を通じて、PHRの広範な社会実装を加速～

### 生活習慣病領域におけるPHRの社会実装を推進

### 産業保健領域、保険者領域、医療機関普及にフォーカスして 具体的な取り組みを推進中

#### 産業保健 領域

産業医（企業内診療所を含む）におけるPHRを活用した医療機関連携モデルの構築、事業推進

- 日本生命の健康管理所など、産業保健領域でのPHR活用の社内PoCを計画推進
- 大手企業への共同営業アプローチ

#### 保険者 領域

かかりつけ医ネットワークを活かしたPHR活用による保健事業の効果的・効率的推進

- 共同プレスリリースの発信
- 日本生命のノウハウからナッジ理論を活用した案内資料のデザイン作成

#### 医療機関 領域

「Welbyマイカルテ」の医療機関普及の推進によるかかりつけ医ネットワークの構築

- 日本生命病院を中心とした地域医療連携のモデル構築

## スズケンとの資本関係を強化し更なる協業加速 PHRと流通プラットフォームを連携・利活用するサービス開発を推進

病院・クリニックへの普及加速、製薬向け複合デジタル企画提案、多方面での連携を強化。  
PHRを中核としたメディカル・エコシステム実現に向けた社会実装として、今期は保険者向け事業における医療機関開拓の連携も推進中




2023年度はグループOne teamでコラボポータルを普及を推進し  
1年でコラボポータル15万IDを達成

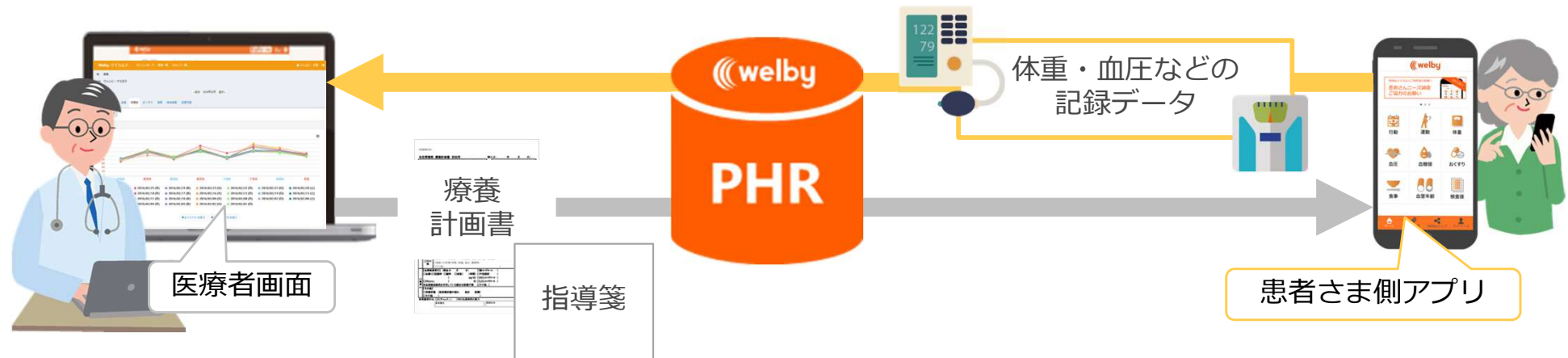


株式会社スズケン2025年3月期中間期決算説明会資料（2024年11月13日）より

- 様々な医療者ニーズを集約するスズケン社コラボポータルと連携、当社PHRの病院・クリニックへの普及を加速
- スズケン社の有する医薬品流通データはもとより、多様なデジタルプラットフォームと連携、新サービスの開発を促進
  1. 製薬事業へのPSP・臨床研究、在庫適正化ソリューションなど
  2. 幅広い業種を対象としたPHRインフラ提供
  3. 保険者向け事業のチャンネル拡大
- 当社PHR普及と新サービスの実現を背景とし、医薬品流通在庫や医療費の適正化など、メディカル・エコシステムの各プレイヤーへの価値貢献を実現

マイカルテに療養計画書作成機能を追加 ～クリニック業務のデジタルを活用した効率化を提供し、開業医と地域住民の利便性向上に貢献～ 

生活習慣病の治療におけるPHR活用をさらに強化し、院内業務である診療報酬請求に必要な療養計画書を効率的に作成できる機能を新たに追加  
 医師の療養指導の効率が大幅に向上し、患者に精度の高いケアが可能となり一層の生活習慣改善指導の効率化に貢献できる見込み



## 導入の背景

2024年の診療報酬改定において、生活習慣病管理料では、**「療養計画書」の作成と説明・患者の同意**が必要となり、患者との目標設定、指導内容の記載など、患者教育を補助する患者指導箋活用ニーズが高まると想定。  
 生活習慣病患者を多く診るかかりつけ医療機関にとって、生活習慣病管理料への対応は大きな経営改題。

## 機能の特徴

### PHRデータの有効活用

患者が入力した血糖値、食事、運動などのPHRデータを医師はリアルタイムで確認。個別の状況に応じた適切な療養計画を迅速に作成し、療養計画書で策定した目標を患者と共有・進捗管理することで治療の質が向上する見込。

### 診療報酬請求の効率化

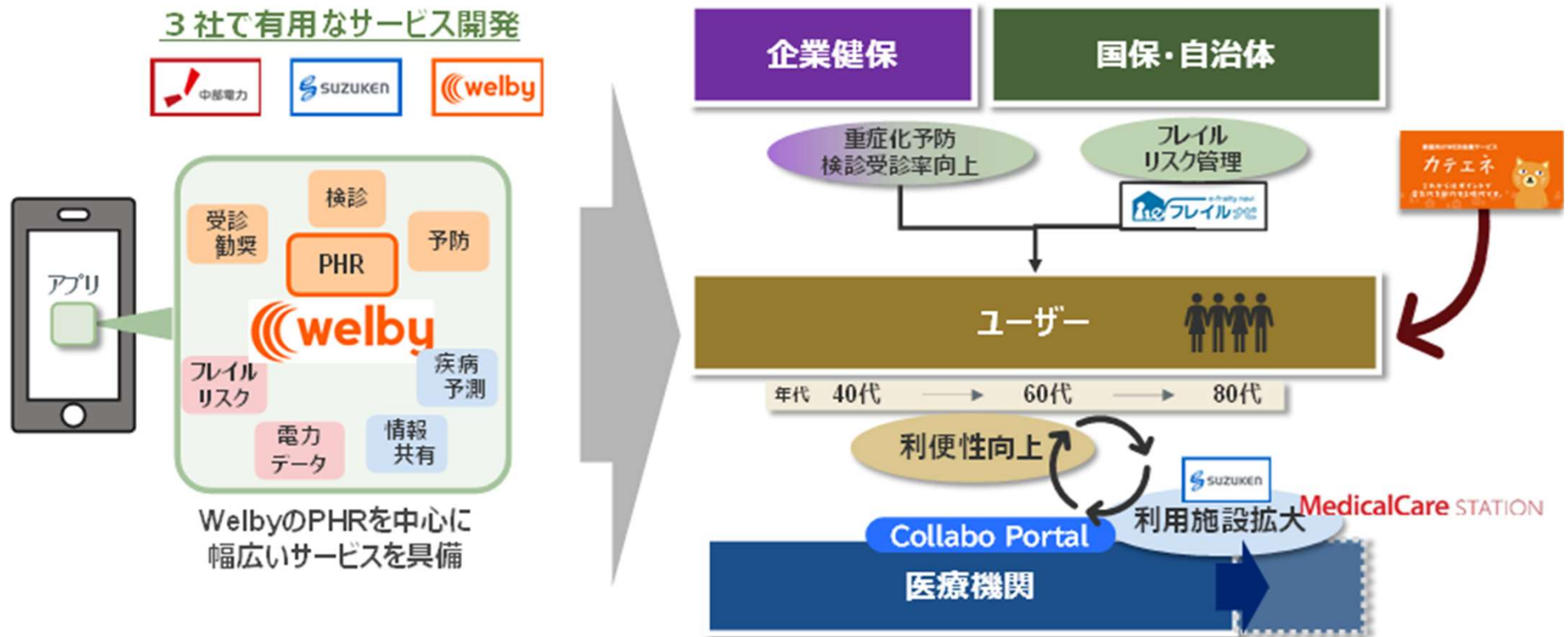
医師と患者が合意した療養計画をもとに、診療報酬を請求する際に必要な療養計画書を作成可能。医師は必要な書類を迅速に作成でき、診療報酬請求がスムーズに行える。診療現場での事務作業が効率化され、医師が診療にかかる時間を増やせる効果。



中部電力とPHRサービス普及促進に向けた資本業務提携に合意  
 ~三位一体となった「医療プラットフォーム」の構築により新たな価値提供を目指す~

- 今期は中部電力管内の自治体への営業連携を推進に注力して実施
- 事業の基盤となる医療機関へのPHR普及率向上と患者（一般市民を含む）のヘルスケアサービスの開発は特定の疾患を選定して検討中
- 医療機関普及は、PHRの臨床利用を通じたスズケンの運営するコラボポータル会員の獲得活動と連関して普及シェアアップに向けた活動を実施中
- ヘルスケアサービス開発についてはPHR社会実装の事例構築を複数の地域を設定して実施

地域のニーズに幅広いラインナップで応えつつ、個人の利用しやすいPHRの普及を目指す



## メディカルデータカードの子会社化によるData Portabilityの推進

メディカルデータカード社が管理する臨床検査データをWelbyグループの事業で利活用することで、①製薬企業や食品メーカーによるエビデンス創出分野におけるPHR利用機会を拡大、②「みなし健診サービス」における事業の効率化、③自治体や健保組合向けの新規サービスとして「重症化予防サービス」を開始する



### 事業シナジー

#### PHRデータ利用機会の拡大（製薬・食品企業等）

検査値と生活習慣やQOLデータをセットにすることにより、（治療効果評価やマーケティング調査分野における）エビデンス創出活動におけるPHRデータ活用を推進

#### みなし健診サービス効率化（健保組合・自治体国保）

かかりつけ医で受けた検査結果をMeDaCaで管理し、「みなし健診」において検査結果を利活用し健保に提供することで効率的なオペレーションを実現

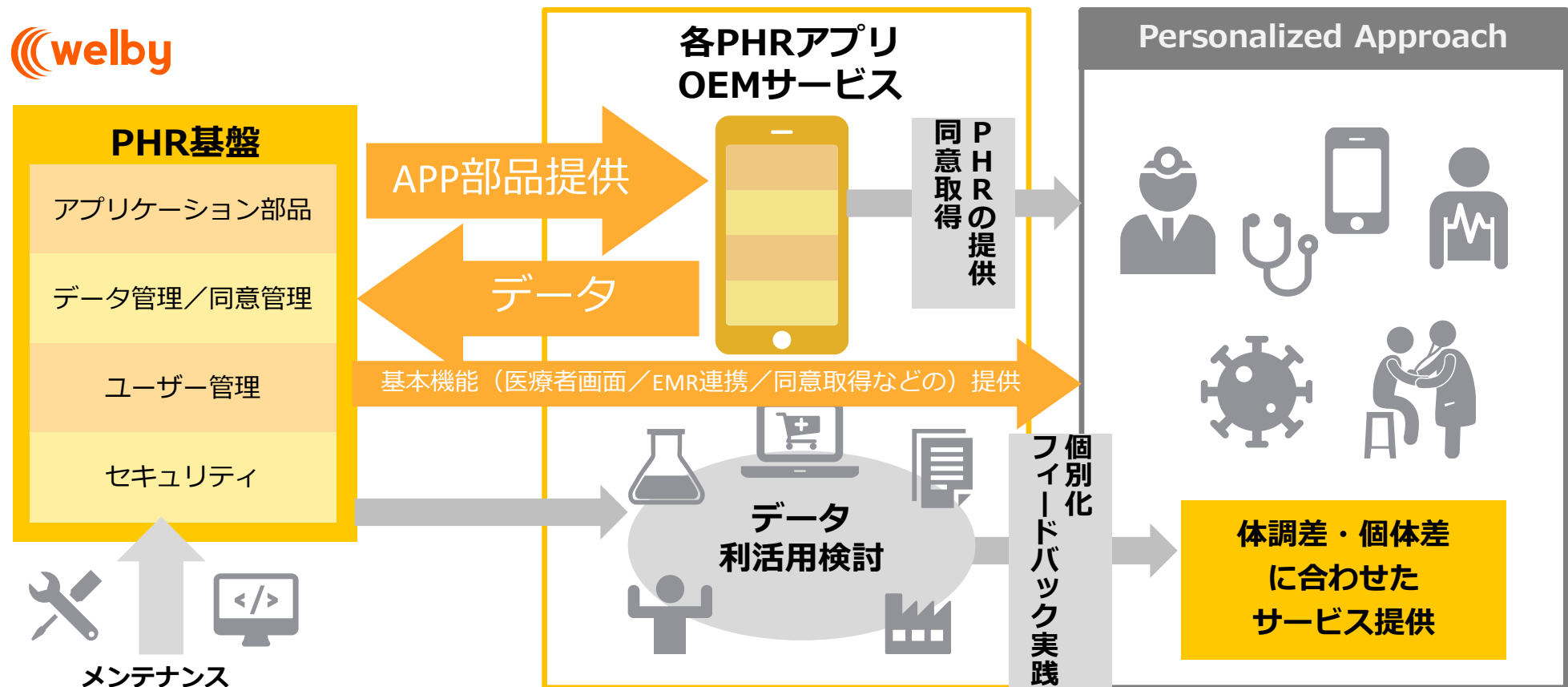
#### 重症化予防サービスの開始（自治体国保）

MeDaCaで管理している検査結果に基づき、かかりつけ医の指示のもと慢性疾患患者へ、マイカルテ上で適切な生活指導（食事・運動・服薬等）を行い、医療費削減に貢献できる自治体向けのサービスの提供を開始

# PHR共通基盤・OEMサービスの他社への提供

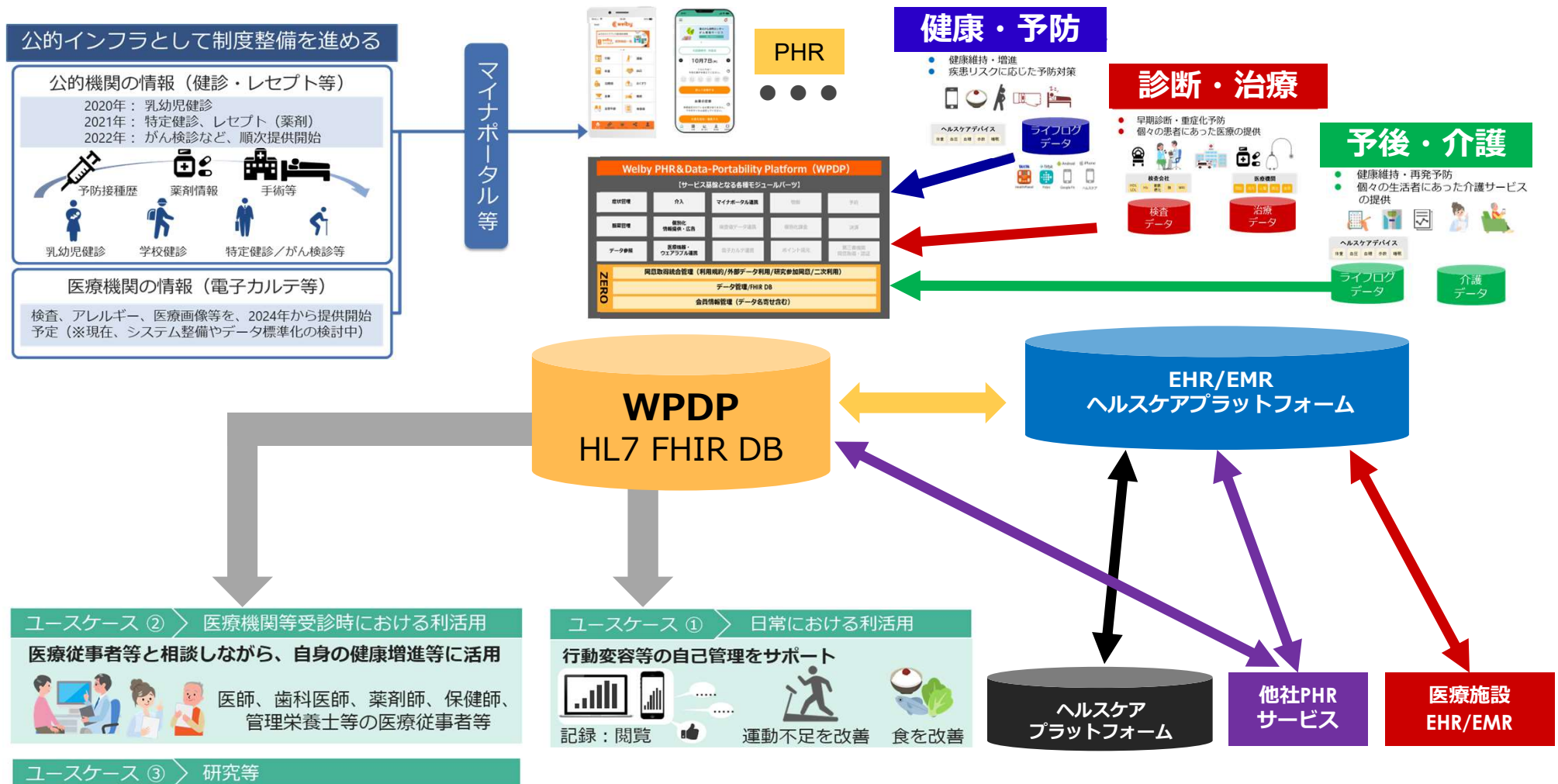
医療ヘルスケアデータ相互運用性を担保したPHR共通基盤をオープン化することで、企業や自治体の医療ヘルスケア領域における独自PHRサービス提供等に貢献

| Welby                                    | 企業/自治体                            | ユーザー   |
|--|-----------------------------------|--|
| 当社が開発したFHIRDB搭載の標準プラットフォームやOEMサービスを企業に提供 | 既の開発・検証済みの基盤を活用して、PHRアプリを素早く構築・利用 | PHR提供と同時に同意を取得<br>同意にもとづき個人一人ひとりに合った個別アプローチを実践 |



# 医療ヘルスケアデータポータビリティ社会の実現

生活者/患者PHRデータ（医療・検診情報含む）を収集・管理することにより、  
 自社独自のユーザ個人に紐づくPHRデータレジストリを構築。二次同意に基づき  
 医療機関や協業他社とデータ共有でき、医療の質向上に貢献



※厚生労働省「PHR（Personal Health Record）サービスの利活用に向けた国の検討経緯について」を一部加筆修正

# PHR業界団体における取り組み

## PHRサービス事業協会※1

### 標準化の 検討

- ユースケース抽出
- メタ項目検討
- ライフログ標準化
- システム化検討

### 業界 ガイドライン の改定検討

- PHR指針※2 改定に伴う反映検討
- セキュリティ・個人情報保護
- 疾患7領域別サービス品質事例集
- 広告表示



国のPHR指針を補完する位置づけとして2024年6月28日に

## 民間事業者のPHRサービスに関わるガイドライン（第3版）

をPHR普及推進協議会とともに共同発出（2025年も改定に向けた検討を継続中）

利用者への説明と同意に基づくサービスの提供

講じるべきセキュリティ対策

PHRサービス間のデータ連携における考え方

データポータビリティの確保、データ項目・  
交換規格・フォーマットの標準化

アプリ自体／アプリ内広告表示の方法



# 目次

1

会社概要

2

2024年12月期業績

3

今期重点取組施策と前期進捗

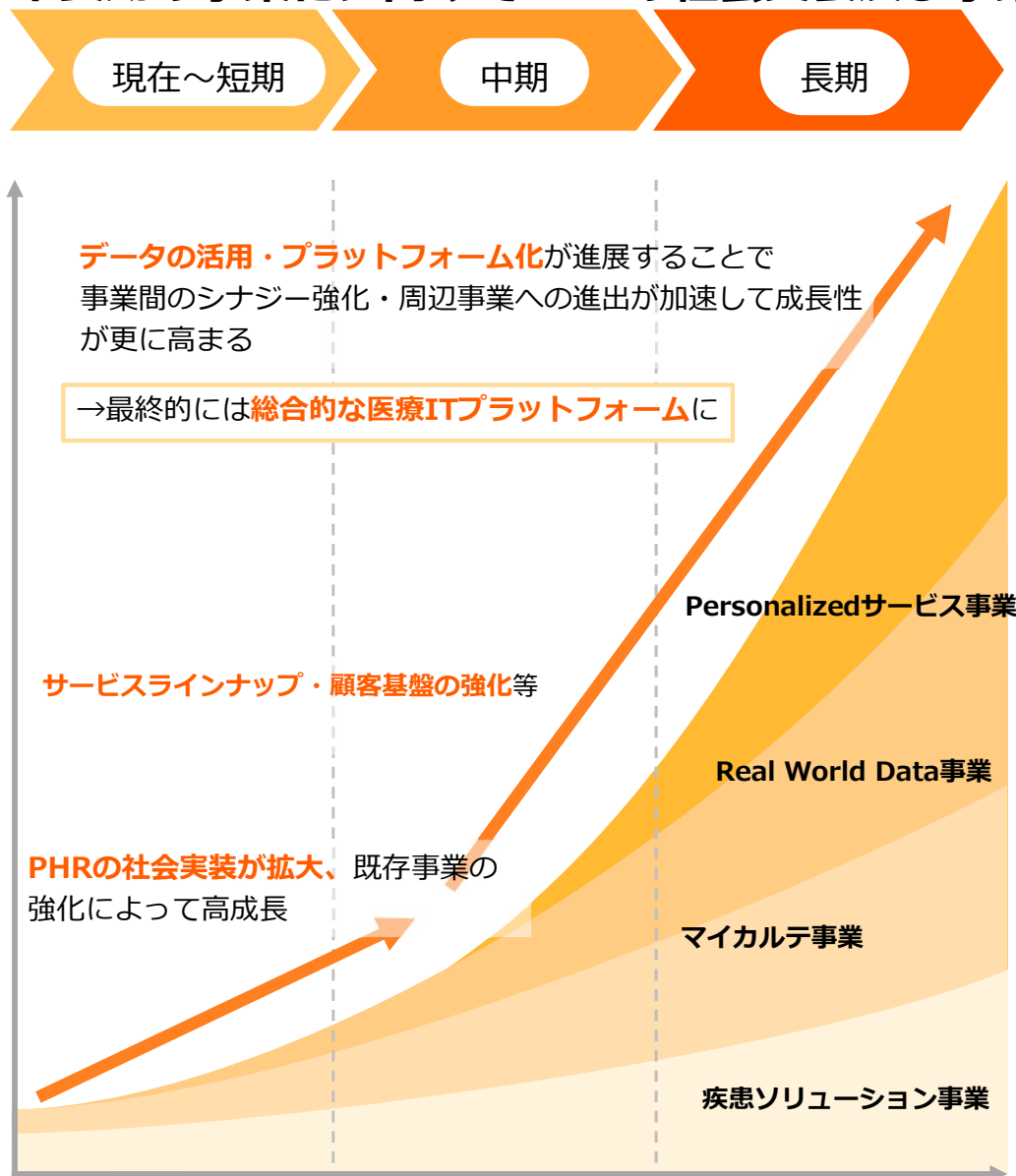
4

今後の成長

5

参考資料

## 短期的に疾患ソリューション事業及びマイカルテ事業で収益拡大を行いつつ、 中長期の事業化に向けてPHRの社会実装及び事業開発を行っている



### 現在～短期

✓ **疾患ソリューション事業：**  
PHRを活用したPSP支援の拡大、開発したプラットフォームを製薬企業などへOEM提供し利用拡大、Real World Dataを活用したユーザーリサーチ事業及び患者向けコンテンツ管理サービスで収益拡大

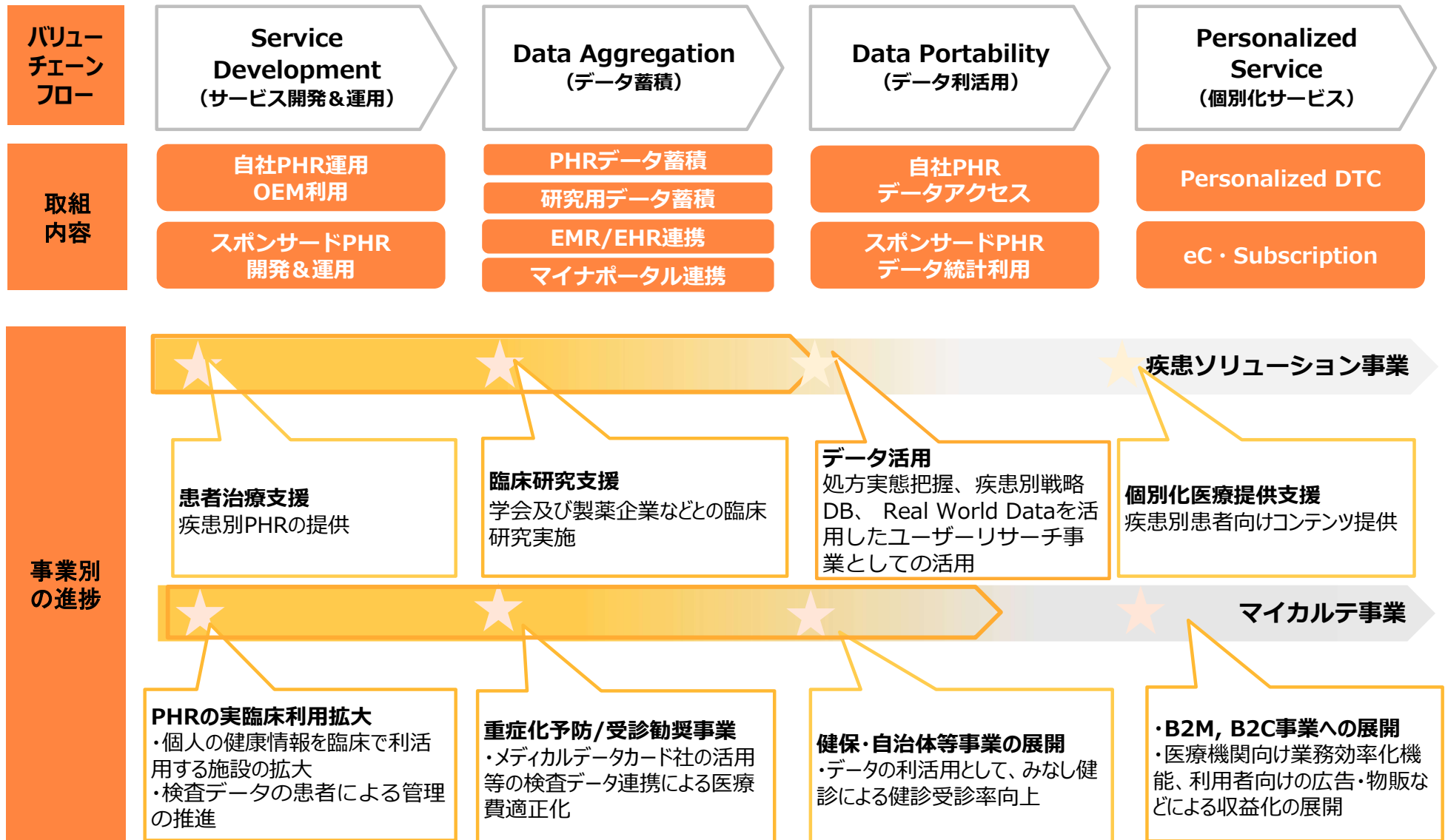
✓ **マイカルテ事業：**  
マイナポータルや検査データ連携が実現したマイカルテの実臨床利用を推進し、健保・自治体向けソリューションとして、みなし健診、重症化予防事業を先行着手し、収益速度アップ

### 中期～長期

✓ **Real World Data事業**  
PHR共通基盤を活用したサービスの臨床実装,患者レジストリ研究、臨床研究などが拡大し、二次利用の同意取得をしたPHRデータの利活用事業を推進

✓ **Personalizedサービス事業**  
B2Mサービス（医療機関の業務効率や診療を支援）、B2Cサービス（物販、疾患教育、個別化情報提供など）、PHRプラットフォームサービス価値向上による収益機会の獲得

プラットフォーム基盤が構築されPHRデータ構築フェーズに進展、今後は健保・自治体向け事業、PSPによる収益化を進め、個別化サービスなど患者向けや医療機関向けへ事業拡大



## 医療ヘルスケアデータポータビリティを実現するPHR-PaaS基盤への投資を継続し、外部連携可能なPHRサービスの提供とデータ利活用のニーズを満たし、収益基盤を強化する

疾患ソリューション事業

マイカルテ事業 (WHS含む)

### プラットフォームへの積極投資

#### データ基盤

- PHRデータ管理、EHRデータ管理、処方データ管理、マイナポータルデータ管理等
- 業界標準であるOIDC/FHIRの利用

#### 開発基盤

- APP標準機能
- 医療者向け画面、服薬情報連携、EHR連携、他社ID連携、第三者認証、医療機関検索等
- 生成AI機能、個別化機能

#### セキュリティ

- ユーザ・パスワード監理
- 3省2ガイドライン、HIPAAを参照したセキュリティ及び情報管理システム
- Web3技術によるデータセキュリティの実装

#### 同意管理

- ユーザプロフィール監理
- 利用規約への同意、オプトインの同意に基づくデータ取得、他の事業者への共有、臨床研究への参加の認証

サービス基盤

ユーザー基盤

#### 収益力強化

- サービス開発標準化と部品化によるリードタイム短縮と開発コスト削減
- PFパッケージやOEMサービスによる
- ライセンシングビジネスの強化
- PF提供によるPHR戦略パートナー育成

#### 独自性の追求

- 医療機関連携サービスの更なる強化
- 疾患横断的なPHRデータ管理の仕組
- パートナー企業への技術提供(オープンアーキテクチャー)

#### ニーズへの対応

- FHIR実装、Web3実装によるデータポータビリティの実現
- 個人の同意、データ統合、二次利用
- マイナポータル、EHRデータを利活用した新サービス

# 目次

1

会社概要

2

2024年12月期業績

3

今期重点取組施策と前期進捗

4

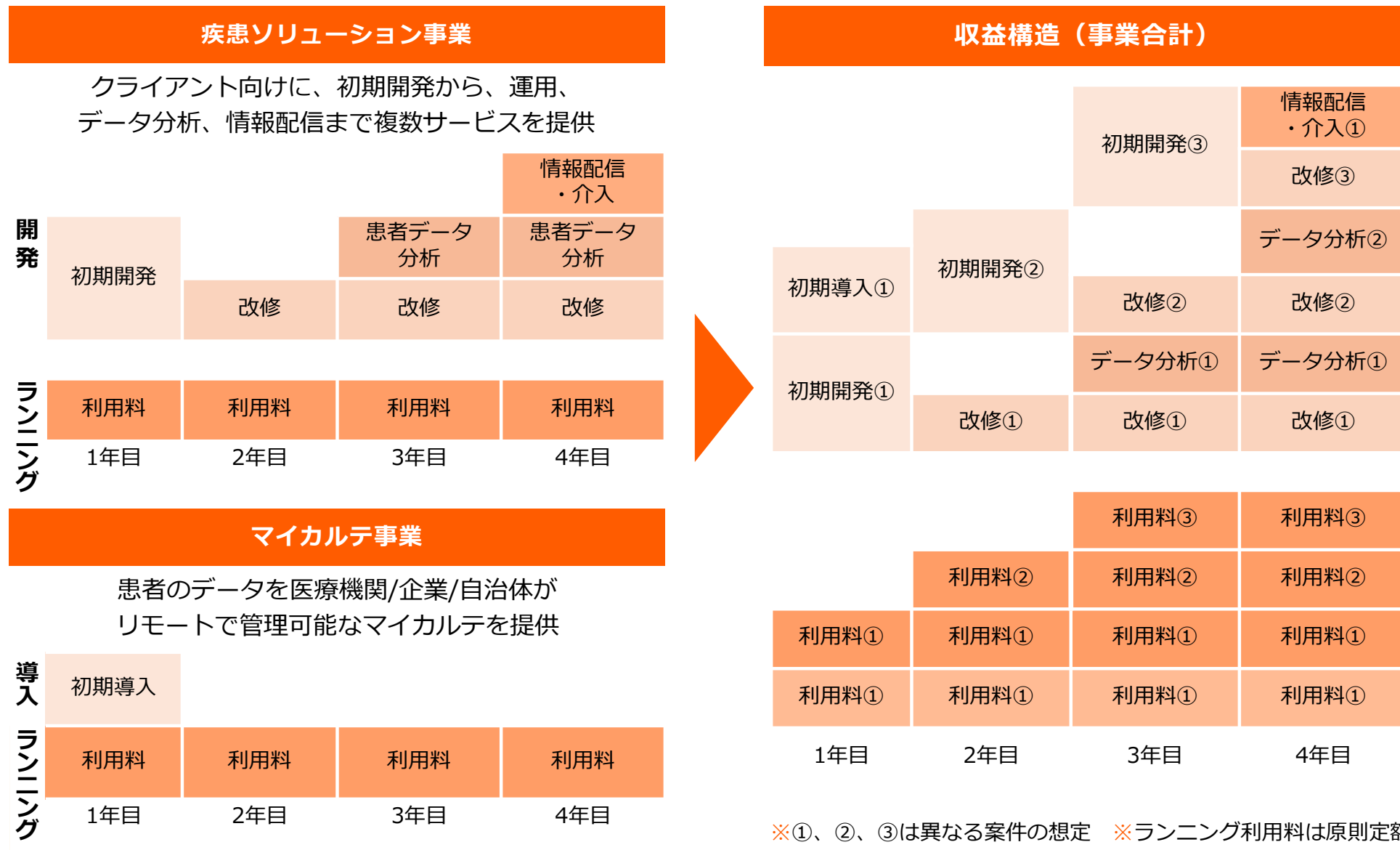
今後の成長

5

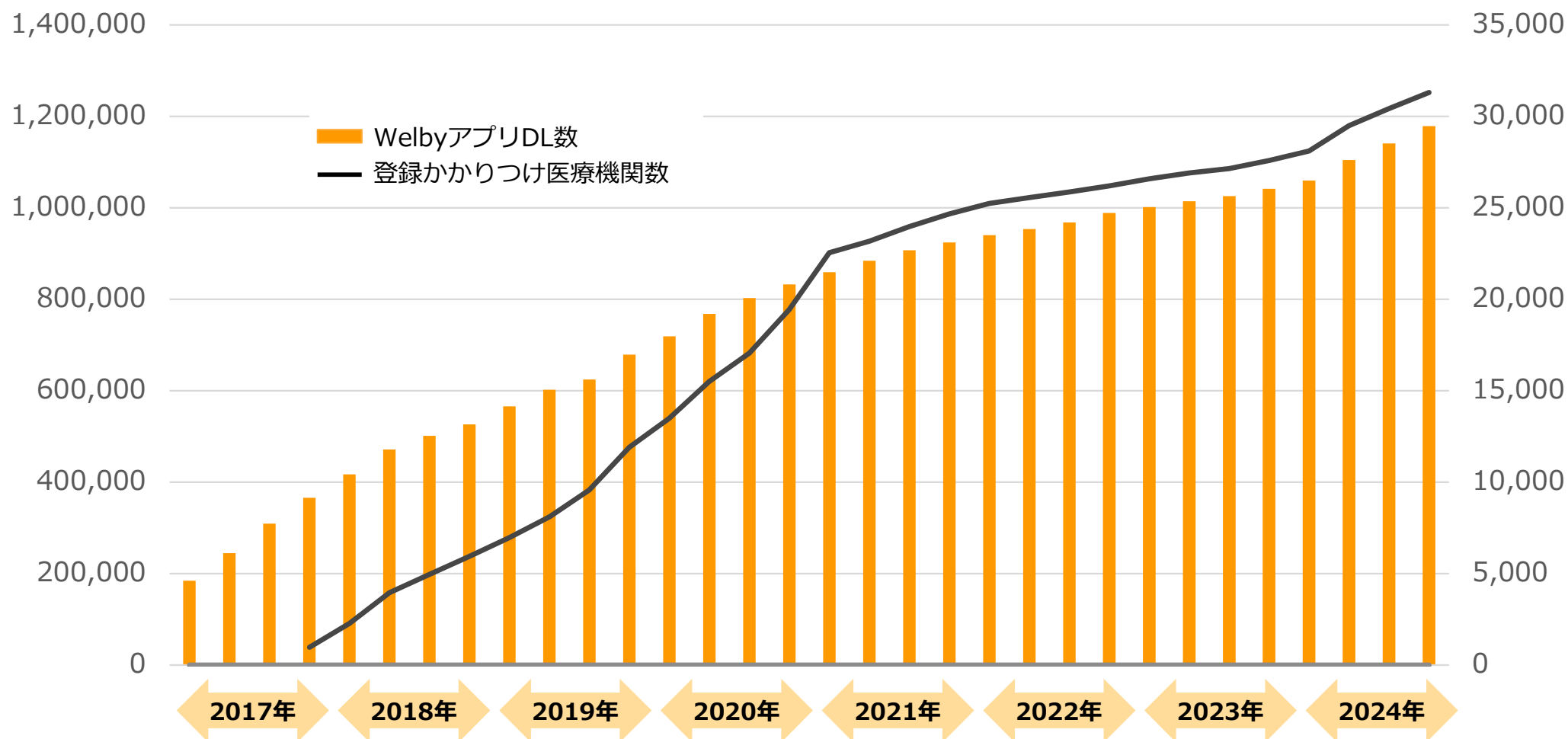
参考資料

## 疾患ソリューション事業は対象疾患領域拡大とサービス追加

## マイカルテ事業は医療機関、企業及び自治体の導入拡充により継続的な成長を実現



## 2024年12月末現在でアプリDL117万人超、登録かかりつけ医療機関数は3.1万施設超



| 大項目  | 項目            | 主要なリスク   | 主な対応策   |
|------|---------------|--|---|
| 事業運営 | 個人情報の取り扱いについて | 個人情報流出等の不測の事態が生じて患者個人のプライバシーが侵害される可能性                                      | セキュリティの強化、個人情報保護法を遵守するとともに、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)であるISO27001の認証を取得。GDPR等諸外国の個人情報保護法制についても、外部弁護士等専門家に確認をしながら対応 |
| 事業環境 | 競合について        | PHR業界での競合は同様の規模感のものは現在明確に存在しないが、今後高い知名度、幅広い顧客基盤を有する他社の参入等、当社の競争優位性が低下する可能性 | 対象疾患領域での早期のユーザー獲得、提供アプリの最適なUI/UXを追求した機能設計、特色あるサービスの提供、取引の安全性の確保やカスタマーサポート充実への取り組みなどにより対応                        |
| その他  | 各種規制について      | 関連法令や業界団体による規制等の改廃、新設が行われた際に、当社が何らかの対応を余儀なくされる可能性                          | 渉外担当者を通じて制度改正のモニタリングや管轄官庁と連携して対応  |
| 事業運営 | 収益の季節変動性について  | 外資系製薬企業の決算が集中する第4四半期における売上高及び利益がそれらの時期に集中する傾向                              | 内資系製薬企業や他業種からの受注を拡大するなど案件の平準化により対応  |

※有価証券報告書記載の【事業等のリスク】に記載の内容のうち、主要なリスクを重要度が高い順に抜粋。その他のリスクは有価証券報告書を参照。



| 回次                   |      | 第10期      | 第11期      | 第12期      | 第13期      | 第14期      |
|----------------------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 決算年月                 |      | 2020年12月  | 2021年12月  | 2022年12月  | 2023年12月  | 2024年12月  |
| 売上高                  | (千円) | 864,644   | 1,139,189 | 1,050,994 | 575,496   | 528,043   |
| 経常利益又は<br>経常損失 (△)   | (千円) | △237,404  | △ 109,671 | 73,641    | △ 438,840 | △ 655,726 |
| 当期純利益又は<br>当期純損失 (△) | (千円) | △353,093  | △ 130,675 | 33,909    | △ 505,288 | △ 819,751 |
| 資本金                  | (千円) | 916,650   | 916,650   | 916,650   | 916,650   | 1,167,250 |
| 発行済株式総数              | (株)  |           |           |           |           |           |
| 普通株式                 |      | 7,832,800 | 7,832,800 | 7,832,800 | 7,832,800 | 8,275,582 |
| A種優先株式               |      | —         | —         | —         | —         | —         |
| 純資産額                 | (千円) | 1,357,539 | 1,259,278 | 1,274,118 | 1,117,813 | 838,339   |
| 総資産額                 | (千円) | 1,520,139 | 1,394,108 | 1,395,516 | 1,205,338 | 1,167,243 |

※当社は 2019年10月4日付で1株につき4株に分割しました。

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。

本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、「事業計画及び成長可能性に関する事項」において、進捗状況を含む最新の内容を半期決算毎に開示する予定です。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

